



※この説明書は必ず取付けられる方にお渡しください。※内は、ロットNo,表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

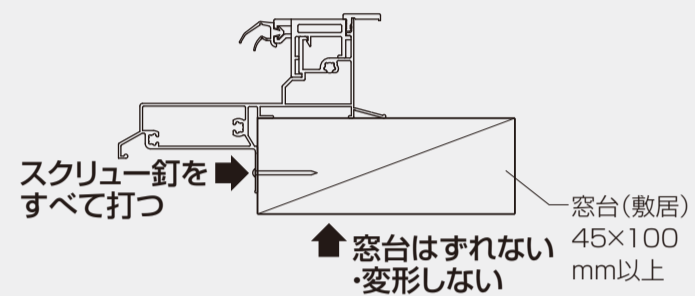
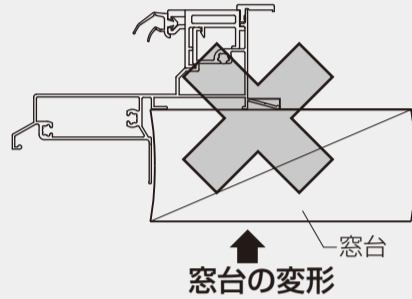
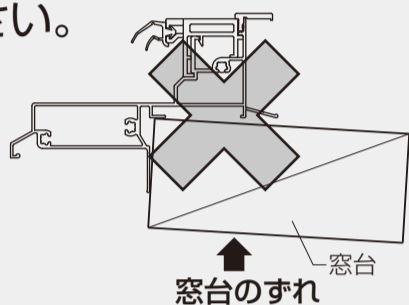
▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●本体吊込みの際は相応の人数で行ってください。誤って本体を落下させた場合、思わぬケガをするおそれがあります。(組立て後の本体重量は約30Kgになります。)

●風のおりなどによるドア本体の落下・枠や外壁材の損傷・漏水・ドアの開閉不良、サッシ下枠の垂れ下がりによる気密・水密・断熱性能の低下の原因になるおそれがありますので、下記項目をお守りください。

・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。



・フリクションアームを必ず取付けて下さい。

取付けないで開閉すると、枠と本体が干渉し損傷するおそれがあります。

●漏水防止のため、下記事項をお守りください。

・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。

防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。

・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

・躯体取付けねじには、同梱されているコーキングワッシャーを使用してください。

・ねじ部からの水の浸入を防ぐため、ねじ穴部はシリコン系コーキング材(別売り)で必ずシーリング処理してからねじを取付けてください。

・アタッチメント額縁の取合せ部には、必ずコーキング材でシーリングしてください。

・シーリング処理をするときは、必ず空気が入らないようにコーキング材を充てんしてください。

・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

・縦額縁両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下額縁のまわりにはみ出すように合せてからねじ止めしてください。

■取付け上のおお願い

●必ず指定の取付けねじを使用してください。

●上枠のハリ・タレは3mm以内に抑えてください。

●縦枠は必ず垂直に取付けてください。

●本体は枠を躯体に固定した後、吊込んでください。

●本体の吊込み後、必ずチリ合わせブロックを外してください。

●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。

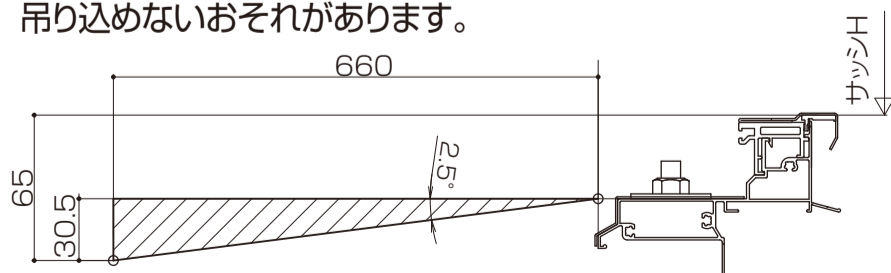
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。

●ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 0.5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

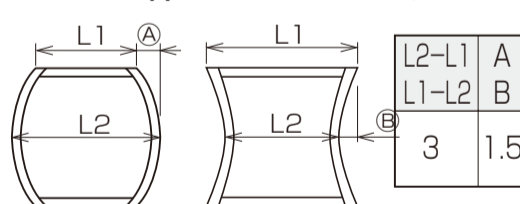
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

●躯体に固定する際に、サッシ枠が右図の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

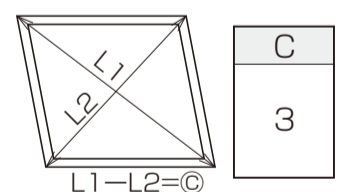
●室外側の仕上げがの範囲に入らないようにしてください。ドア本体が吊り込めないおそれがあります。



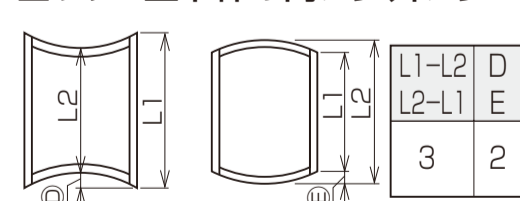
■サッシ枠のフレ・ツツミ



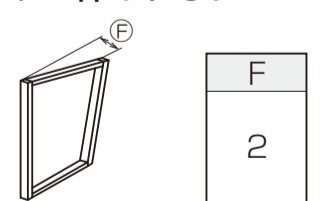
■サッシ枠対角差



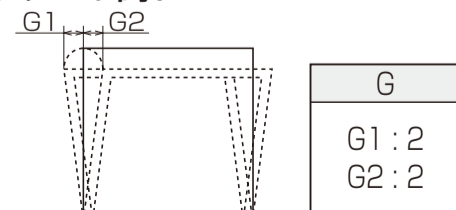
■サッシ上下枠の内ソリ・外ソリ



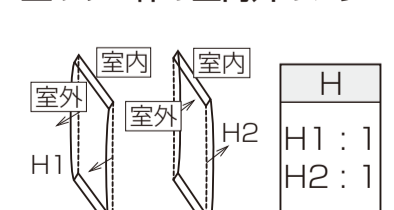
■サッシ枠のねじれ









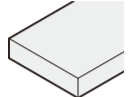
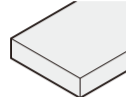
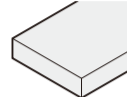
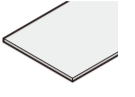
■サッシの倒れ



■サッシ枠の室内外のソリ



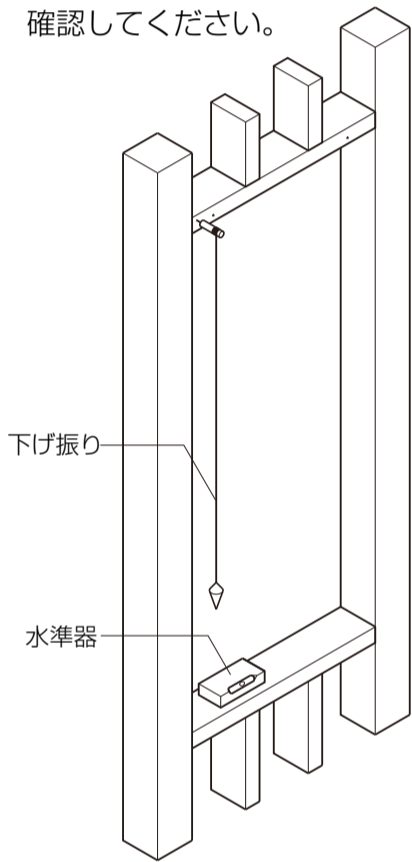
■取付け部品・ねじ一覧表

額縁取付け				枠取付け	
①	②	③	④	⑤	⑥
					
組立てナベタッピン ねじφ4×30	皿木ねじφ3.8×45	ナベタッピンねじ φ4×25	コーキングワッシャー	スクルー釘φ2.1×32	皿木ねじφ3.8×56
額縁組立て用	額縁一躯体	額縁一壁	額縁	枠取付け	アタッチメント取付け
木スペーサー					
⑦	⑧	⑨	⑩		
					
60×10.5	60×20.5	60×16	共通 105×3		
額縁一躯体					

■取付け手順

1 開口部の作成

※開口部の水平・垂直を確認してください。



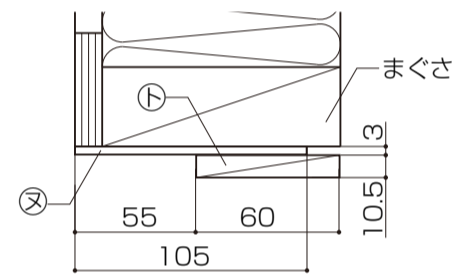
■取付け詳細

1 開口部の作成

【開口部の補強】

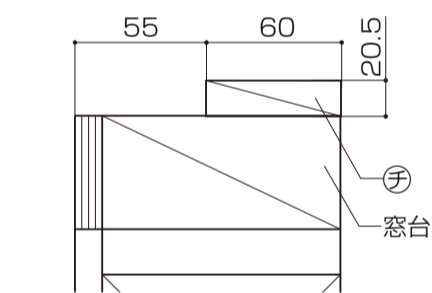
●開口部を下図のように、同梱の⑦木スペーサー (60×10.5)と⑧木スペーサー (60×20.5)と⑨木スペーサー (60×16)と⑩木スペーサー (共通)(105×3)で釘又は接着剤にて固定し補強してください。
 ※木スペーサー (共通)は開口部とサッシ枠、額縁とのチリに合わせて使用して下さい。
 ※木片はアルミ額縁に同梱されています。

●縦断面図

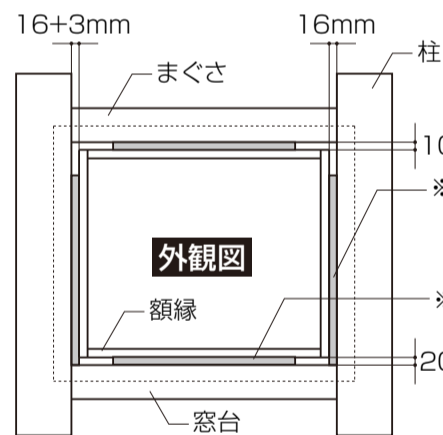
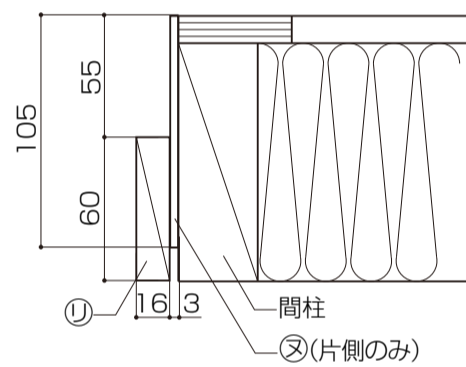


室外側

室内側



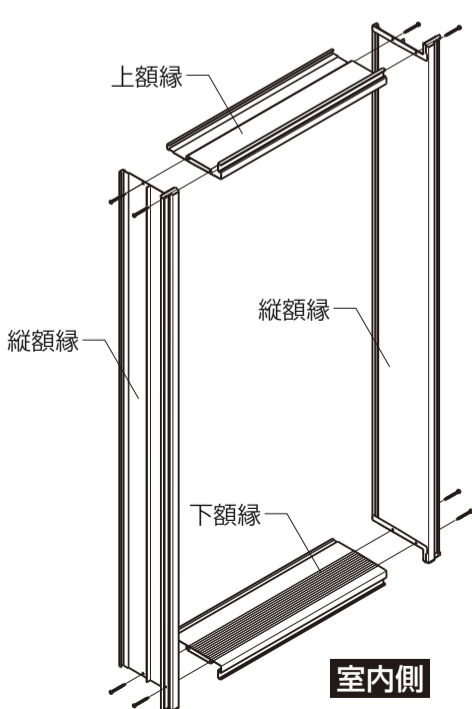
●横断面図



外観図

※縦スペーサーは、窓台にのせて取付けるH20用の時は2分割になります
 ※上下スペーサーは、窓台・まぐさの中心

2 額縁の組立て

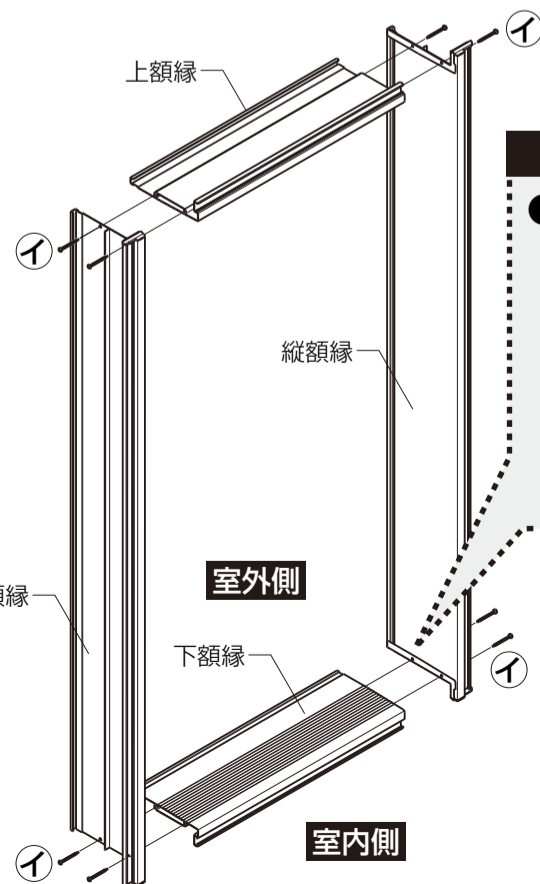


2 額縁の組立て

●上下・縦額縁の室内側、室外側の向きを合せて、①ナベタッピンねじφ4×30で組立てます。
 ※額縁カバーは、額縁を躯体・パネルに取付けた後にはめ込みます。

▲注意

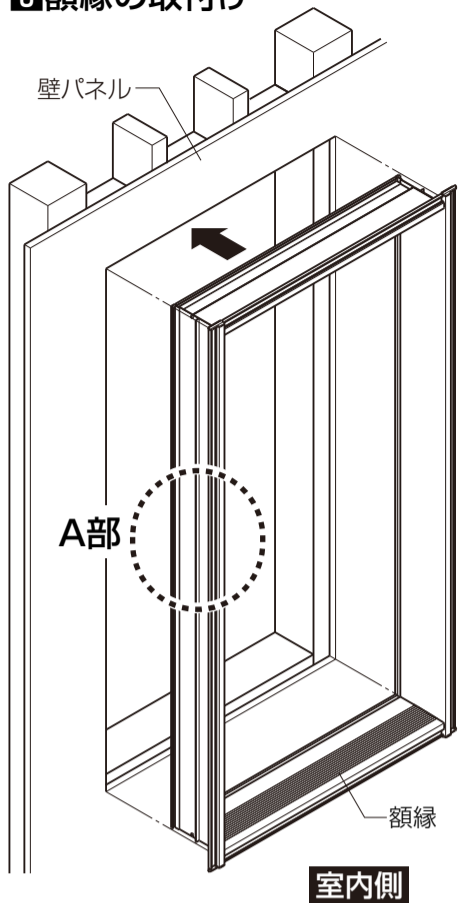
●ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。漏水の原因になるおそれがあります。



▲注意

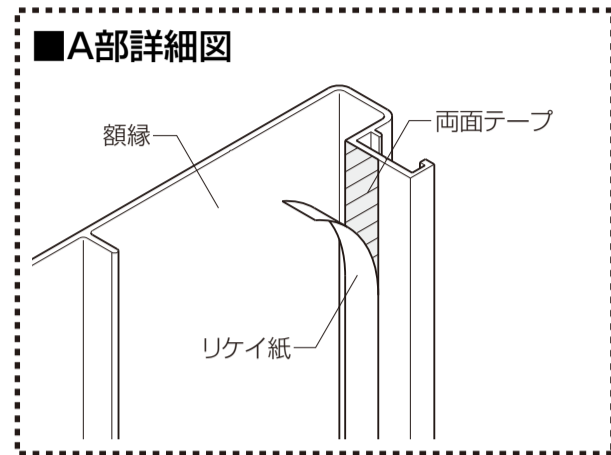
●縦額縁両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下額縁のまわりにはみ出すように合せてからねじ止めしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

3 額縁の取付け

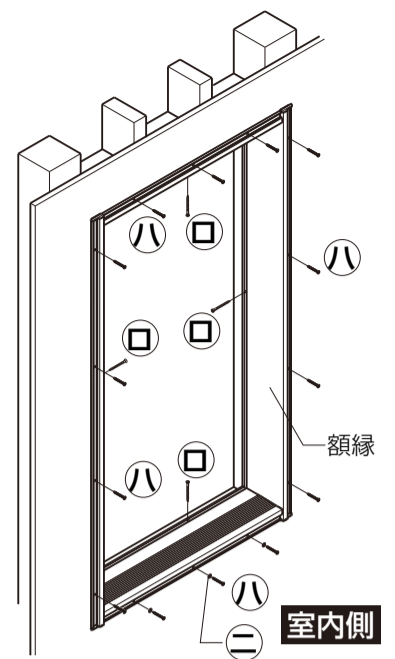


3 額縁の取付け

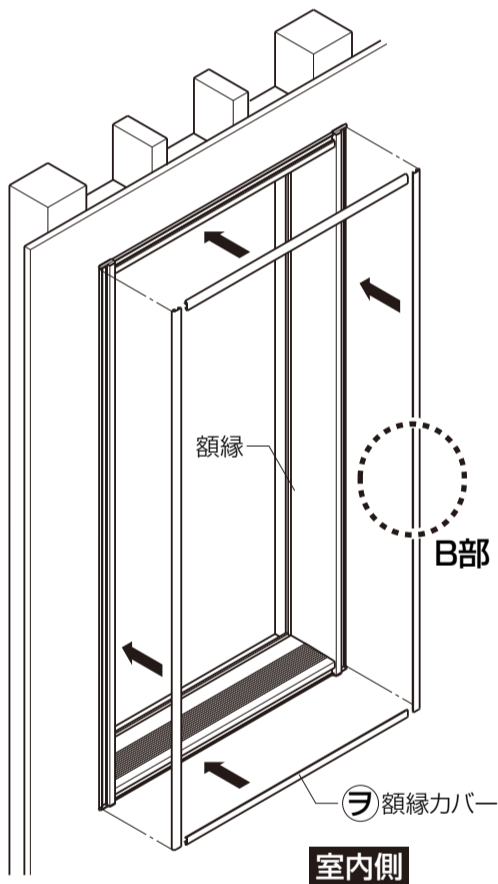
- ①上下・左右の額縁の裏側に付いている両面テープのリケイ紙をはがして、壁パネルの開口部に額縁を差込みます。
※浴室側から外側にチリが均等になるように額縁を押付けてください。



- ②額縁の見込み面に㊦皿木ねじφ3.8×45(縦横各2本)で仮止めします。
- ③壁パネルにφ3.5の下穴をあけた後、㊨ナベタッピンねじφ4×25で額縁を壁パネルに固定します。その際、下額縁には必ず㊩コーキングワッシャーを付けてください。

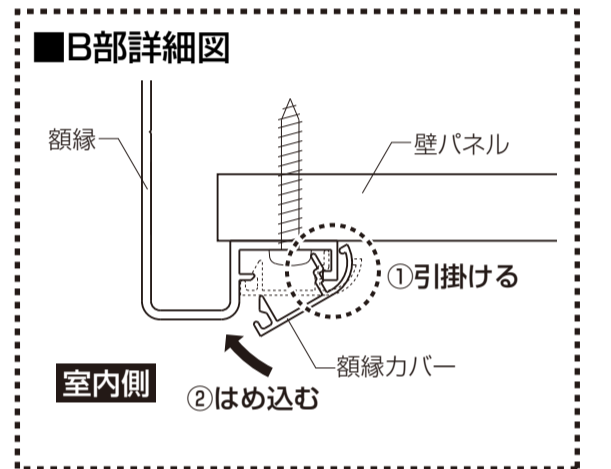


4 額縁カバーの取付け



4 額縁カバーの取付け

額縁カバーを取付けます。



5 枠の固定

1) 枠の仮止め

- 開口部の水平・垂直を確認し、枠を㊱スクルー釘φ2.1×32で仮止めします。

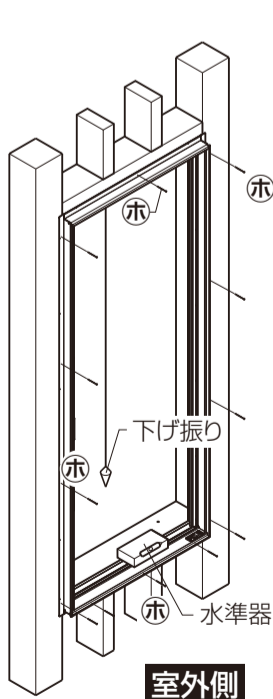
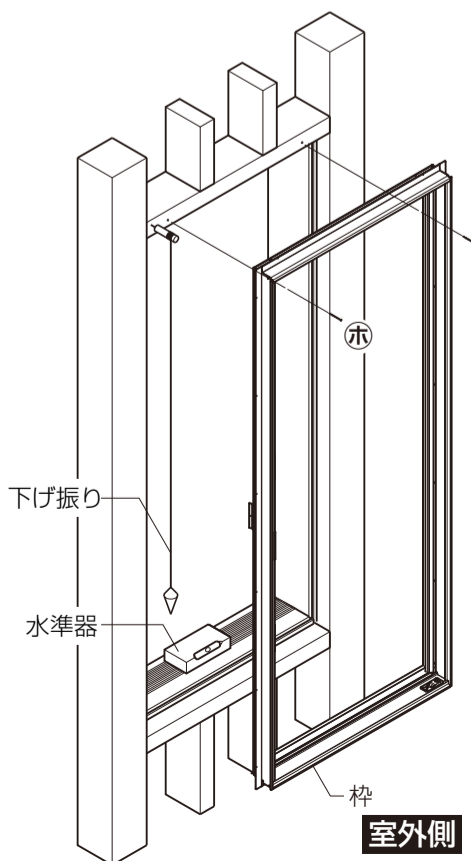
▲注意

- 枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。漏水の原因となるおそれがあります。

2) 枠の調整と固定

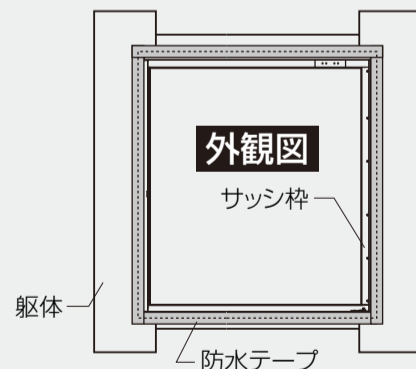
- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、枠を㊱スクルー釘φ2.1×32で固定します。
※縦枠は、必ず垂直に取付けてください。(開閉障害・すき間が生じるおそれがあります。)

5 枠の固定



▲注意

- 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。漏水の原因となるおそれがあります。



お願い

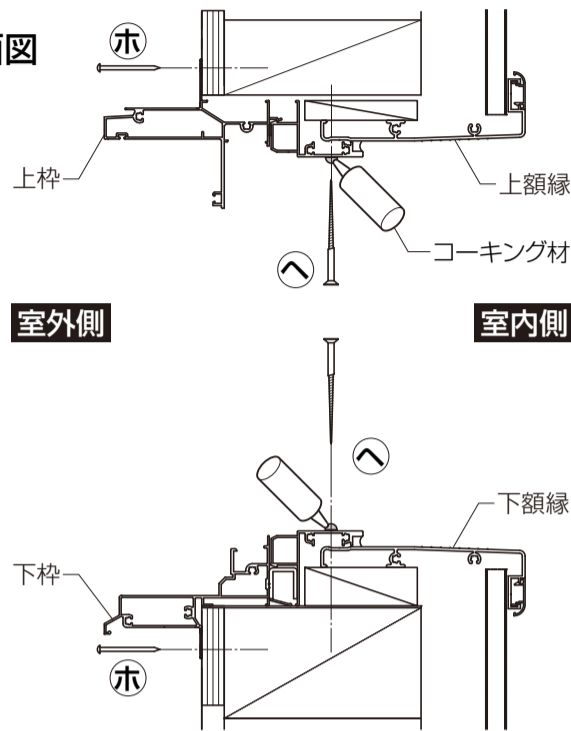
※枠の取付けの際には冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など不具合が生じるおそれがあります。

3) ユニットバス額縁の取付け

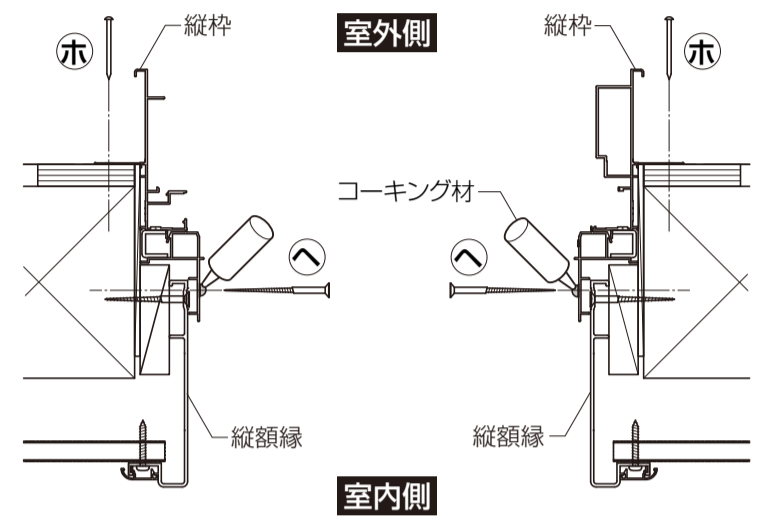
●額縁にφ4.5の下穴をあけた後、④皿木ねじφ3.8×56でアタッチメントと額縁を躯体に固定します。

●お願い
 ※下穴は額縁にだけあけてください。躯体まであけるとねじがきかなくなるおそれがあります。

●縦断面図



●横断面図



▲注意

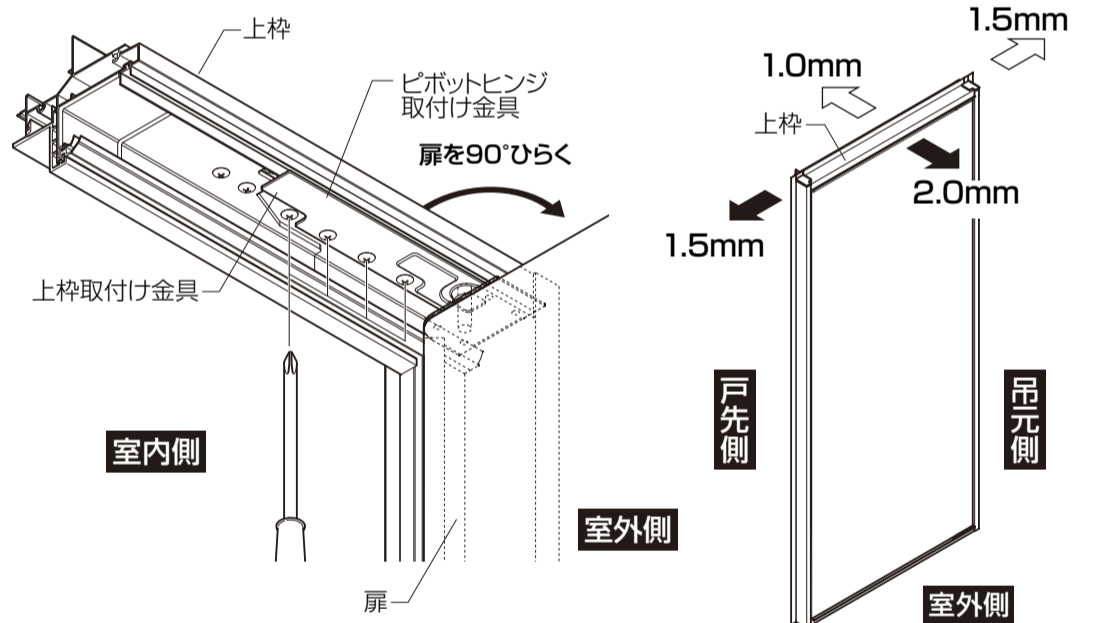
●ねじ部からの水の浸入を防ぐため、ねじ穴部はシリコン系コーキング材(別売り)で必ずシーリング処理してからねじを取付けてください。漏水の原因になるおそれがあります。

6 建付け調整

6 建付け調整

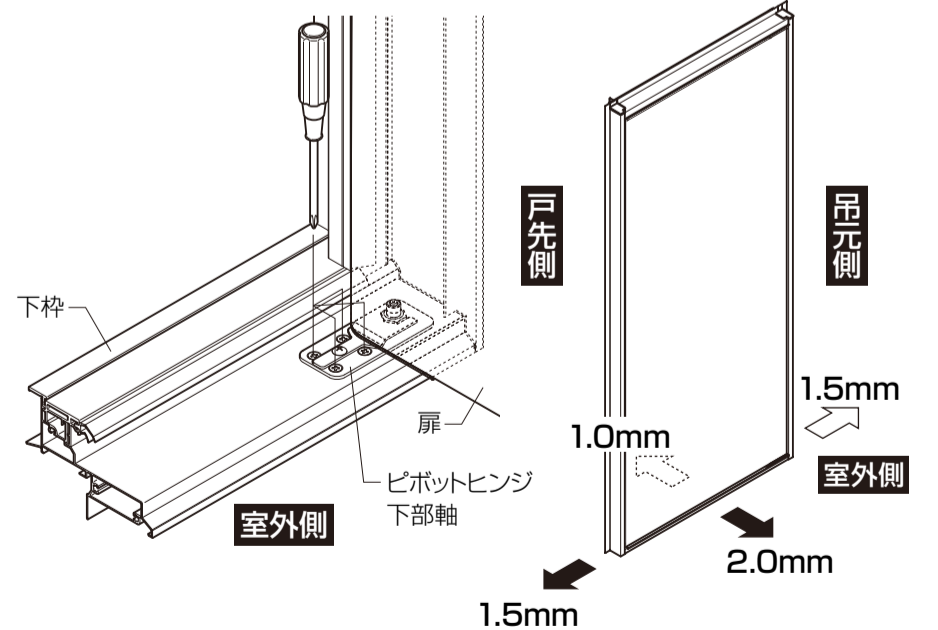
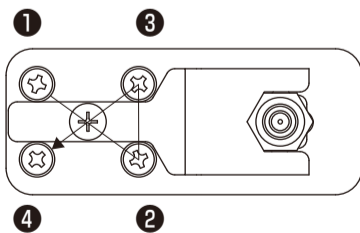
■左右方向のすき間の調整

- ①扉を90°開きます。
 - ②ピボットヒンジ取付け金具のねじ4本をゆるめます。
 - ③室外側方向に2.0mm、室内側方向に1.0mm、戸先側方向に1.5mm、吊元側方向に1.5mm動きますので、位置が決まったらねじを締め直してください。
 - ④ピボットヒンジ下部軸のねじ4本をゆるめます。
 - ⑤室外側方向に2.0mm、室内側方向に1.0mm、戸先側方向に1.5mm、吊元側方向に1.5mm動きますので、位置が決まったらねじを締め直してください。
- ※必ず手回しドライバーをご使用ください。



建付け調整時の注意事項

下枠のピボットヒンジを調整した際、取付けネジは30kgf・cmのトルクで対角順に締め付けてください。

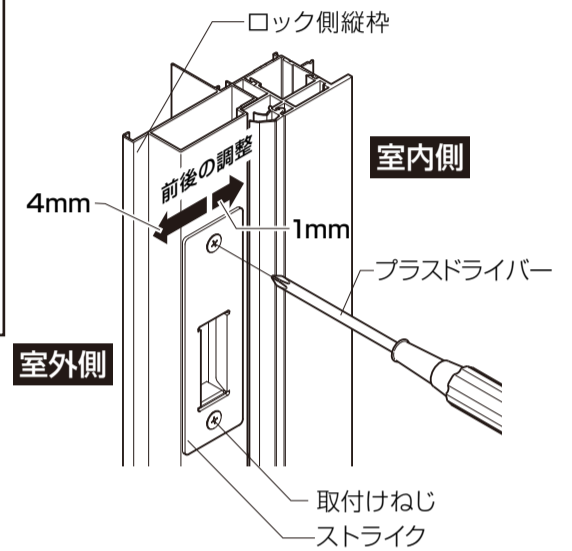
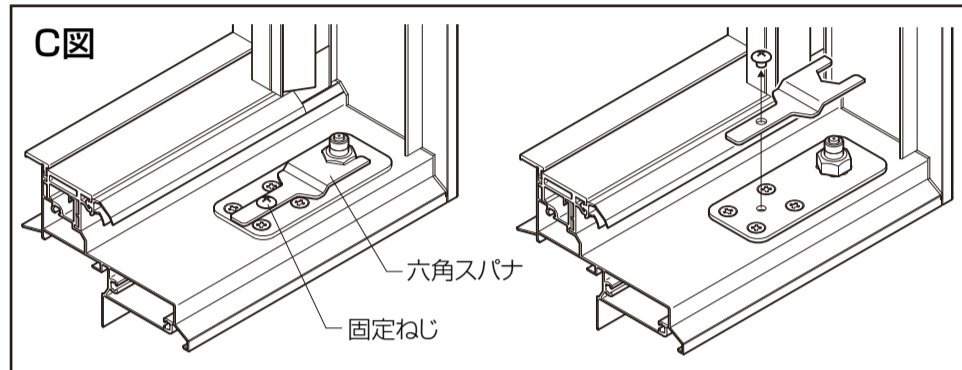
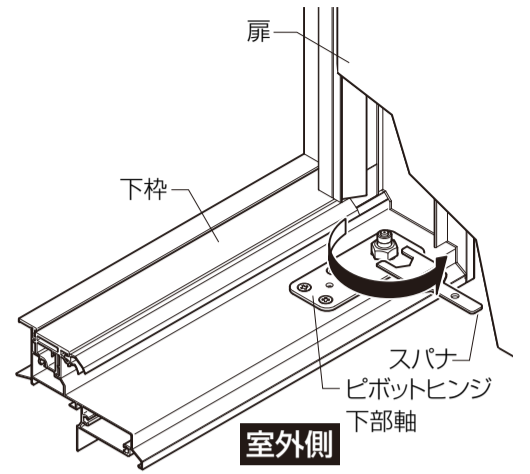


■上下方向のすき間の調整

- ピボットヒンジ下部軸に取付けされている六角スパナでピボットヒンジ下部軸のナットを右に回すことで上に最大3mmまで動かせます。六角スパナの固定ねじを外して使用してください。(C図)
- 調整が終わったら、六角スパナを固定ねじで元のとおりに取付けてください。

お願い

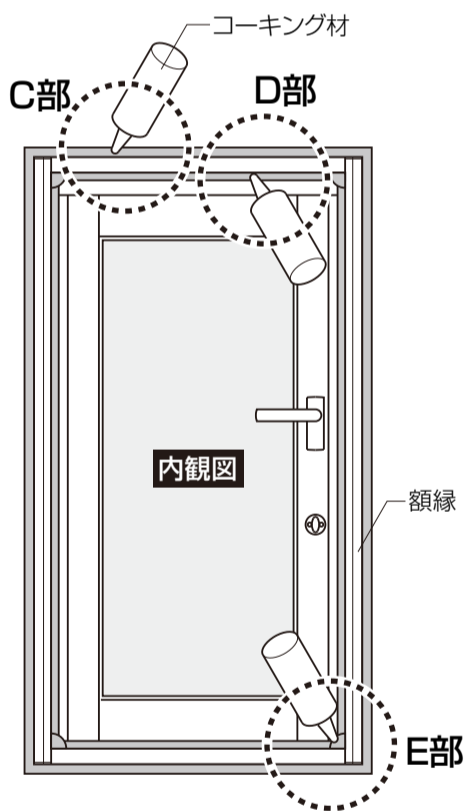
- スパナは必ず元どおりに取付けてください。ナットが回転して開閉不良など不具合が生じるおそれがあります。
- スパナをたたくなど、締め付けすぎないようにしてください。スパナが変形し、固定できなくなるおそれがあります。



■ストライク調整

- ラッチがかからない場合は、以下の手順で調整してください。
- ①ストライクの取付けねじ2本をゆるめます。
- ②室外側方向に4mm、室内側方向に1mm動きますので、位置が決まったらねじを締め直してください。

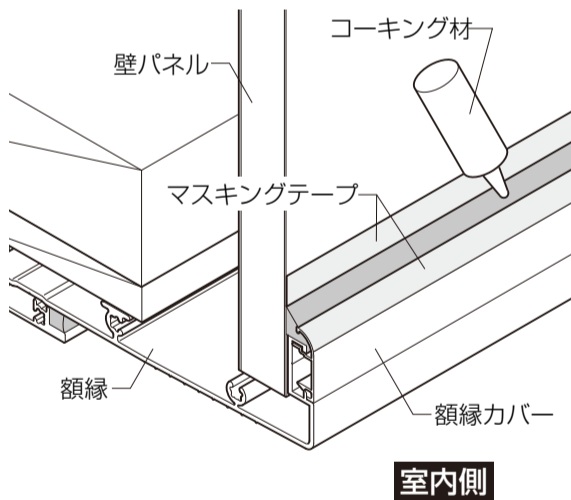
7 サッシまわりのシーリング処理



7 サッシまわりのシーリング処理

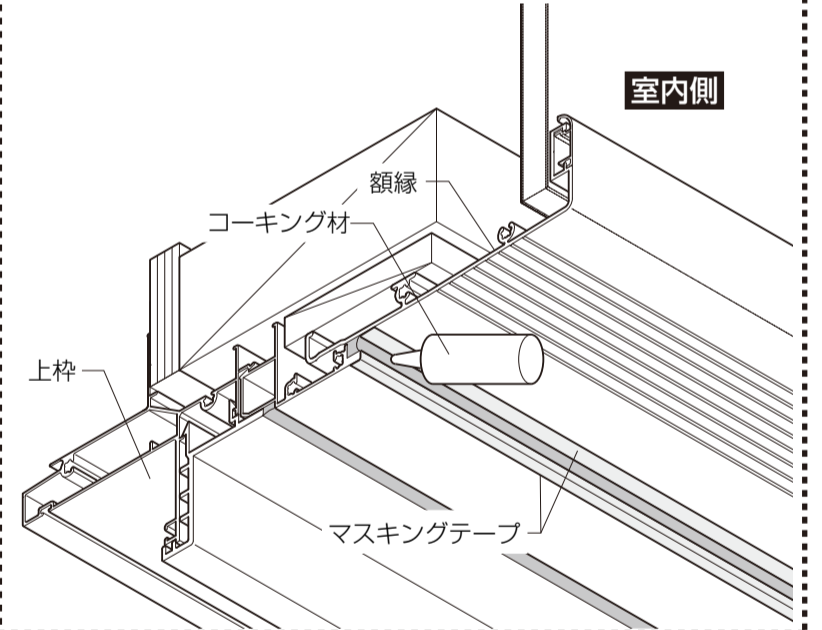
■C部詳細図

- 額縁カバーと壁パネルにマスキングテープを張り、間にコーキング材を充てんします。(上下枠・縦枠部の全周)



■D部詳細図

- アタッチメントと額縁にマスキングテープを張り、間にコーキング材を充てんします。(上下枠・縦枠部)



▲注意

- シーリング指定箇所は、すき間がないようにコーキング材を充てんしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

■E部詳細図

- ①アングルとアタッチメントの四隅にマスキングテープを張り、コーキング材を充てんします。
- ②額縁の四隅にコーキング材を充てんします。

